

Press Release

資生堂 江連主幹研究員、「あたらしいアンチエイジングスキンケア」を刊行
－ 食事、入浴、運動、睡眠からのアプローチ －

化粧品技術者の世界大会 (IFSCC※) で初の3大会連続最優秀賞を受賞した資生堂アドバンスリサーチセンター主幹研究員 江連智暢(えづれ とものぶ)は、食事、運動、睡眠などの生活習慣が肌の老化とどのように関係しているか、最新の研究成果をもとに解説する「あたらしいアンチエイジングスキンケア 食事、入浴、運動、睡眠からのアプローチ」を日刊工業新聞社より9月25日に刊行しました。

※ IFSCC (The International Federation of Societies of Cosmetic Chemists): 世界中の化粧品技術者が集い、より高機能で安全な化粧品技術の開発へ向けて取り組む国際機関。当社は、IFSCC が主催する「IFSCC Congress/Conference」で7大会連続、通算26回(うち最優秀賞は22回)受賞しており、世界の化粧品メーカーの中で他社の追随を許さない最多の受賞回数となります。江連主幹研究員は第28回パリ大会、第29回オーランド大会に続き、本年開催された第30回ミュンヘン大会の3大会連続で最優秀賞を受賞しました。同一人による3大会連続最優秀賞受賞は初めてです。

大会名/受賞名	受賞研究名
第30回 IFSCC ミュンヘン大会 口頭発表部門 最優秀賞	皮膚のアンチエイジングシステムをターゲットした新たなスキンケア
第29回 IFSCC オーランド大会 ポスター発表部門 最優秀賞	顔の老化を引き起こす肌の空洞化現象の解明
第28回 IFSCC パリ大会 ポスター発表部門 最優秀賞	顔の形を支える肌のアンカー構造の解明

書籍概要

「肌を健やかにする」ことで健康的で、若々しく、魅力的な印象を手に入れる、そのための手段がスキンケアです。これまで多くのスキンケア製品が開発されてきましたが、美容意識の高まりとともに、ますます多様なアプローチが行われるようになってきています。本書では、最新の研究成果をふまえ、食事、運動、睡眠などが肌の老化とどのように関係しているか、多様な広がりを見せるアンチエイジングスキンケアの世界にフォーカスして科学的根拠をもとにわかりやすく解説しています。



タイトル	あたらしいアンチエイジングスキンケア 食事、入浴、運動、睡眠からのアプローチ
著者	江連智暢(えづれ とものぶ)
内容	第1章 顔の老化の実態とスキンケアの現状
	第2章 食事 - タンパク質、脂質、炭水化物、保健機能食品
	第3章 入浴 - 成分的効果、物理的効果、心理的効果
	第4章 運動 - エクササイズ、マッサージ、ストレッチ
	第5章 睡眠 - 睡眠と身体の状態、良質な睡眠をとるには、サーカディアンリズム
発行	日刊工業新聞社
刊行日	2018年9月25日
定価	本体 2200 円+税
体裁	A5 判 152 ページ